

FFG

FREE
¥0
ご自由にお持ち帰りください。

中間期ディスクロージャー誌

2018

あなたのいちばんに。編

特集

いま、
「ベンチャー」が
アツい。



My Town Vol.18



熊本編
五輪のドラマと
スポーツの熱気に
ふれる旅へ

第5次中期経営計画の総仕上げ
トップメッセージ

利用するほど、あなたにプラス。

my bank+

商品&サービス
ラインナップ

住まいるな話
植物と暮らす

2018年度中間期の
業績ハイライト

FFGの社会的責任
CSRレポート

健やかな毎日への願いをこめて

あなたのいちばんに。

Contents

- 3 トップメッセージ
第5次中期経営計画の総仕上げ
- 5 特集 いま、「ベンチャー」がアツい。
- 13 FFGの商品&サービスラインナップ
- 15 ペア使いで、マネー上手。
- 17 利用するほど、あなたにプラス。my bank+
- 19 FFG TOPICS
- 21 CSRレポート 2018
 - Focus on 「学生ビジネスコンテスト」
 - 環境共生活動
 - 生涯学習支援
 - ユニバーサルアクション
- 26 住まいるな話 VOL.15 植物と暮らす
- 27 来て！見て！My Town Vol.18 熊本編
- 29 ふくおかフィナンシャルグループ 経営戦略
- 30 業績ハイライト
- 34 グループ銀行プロフィール、FFGのネットワーク



高い天井から、地上へ流れるように
吊される光のタワー。

ふくぎん本店広場に毎年飾られる
イルミネーションは、

福岡市中央区天神の冬の風物詩です。

今年も、福岡銀行が「ピンクリボン運動」の
啓発運動を行なっていることから、
シャンパンゴールドのタワーに、
ピンク色のライトが添えられています。

CSR活動の環として取り組む
この運動の起こりは、

乳がんで大切な人を亡くした人々が

この悲しさが繰り返されないようにと



ピンク色のリボンを作ったことでした。
今では、世界でその輪が広がり、
日本のすぐ身近な場所でも
乳がんの早期発見、早期診断、早期治療の大切さが
呼びかけられています。

がんという病気に密接な関わりを持つ、
生命保険を取り扱う私たち金融機関は、
経済的な備えをサポートするだけでなく、
お客さまに健康への意識を高めていただく
きっかけをご提供することも

社会的責任のひとつと考え、
この冬、さまざまな啓発イベントを行なっています。

何気なく通りかかった街角の景色に、
足を止めて目を輝かせる人々が、
温かな光に包まれて、大切な人を想い、
生きることの尊さに気づく。

皆さまがこのイルミネーションとともに
過ごされる時間が、
そんな瞬間になることを願っています。

ふくおかフィナンシャルグループ
取締役社長

柴戸 隆成



第5次中期経営計画の 総仕上げ

皆さまには、平素より格別のお引き立
てを賜り、厚く御礼申し上げます。

2018年度中間期の 事業概況

2018年度中間期の国内経済を振
り返りますと、海外経済の着実な成長
や企業収益の改善、輸出・生産・設備投

資の増加基調が続いたほか、雇用・所得環境の着実な改善を背景に個人消費の持ち直しが続くなど、穏やかな回復基調が継続しました。

私どもの地盤である九州でも、旺盛な海外需要を背景に自動車や半導体を中心とした輸出が堅調に推移し、設備投資や個人消費が増加するなど、穏やかな拡大が続きました。

金融面では、円相場が米中貿易摩擦への懸念などから一時円高に振れる局面もありましたが、良好な米国景気を背景に、総じて円安ドル高基調で推移しました。一方、金利は7月に日銀が金融政策の微修正を行いました。内容は限定的なものであり、依然として低金利環境が続いています。

このような金融経済環境のもと、当社グループの2018年度中間期の業績は、貸出金利回りの低下による減収を、貸出金残高の積み上げや有価証券、国際部門での収益増加でカバーし、加えて業務効率化による経費削減に取り組んだ結果、本業の収益力を示すコア業務純益(3行合算)は、前年比で34億円増加の400億円となりました。また、FFG連結中間純利益は、計画を13億円上回る273億円となりました。業

容面では、2018年9月末の3行合算の預金残高が14.2兆円、貸出金残高12.8兆円と、いずれも増加しており、営業基盤の拡大は順調に進捗しています。

第5次中期経営計画の総仕上げと成長戦略

低金利環境の長期化、少子高齢化・人口減少、また異業種の参入やICTの発展など、地域金融機関を取り巻く環境が急速に変化する中、私どもは2016年から次の10年間を「進化のステージ」と位置づけ、今後の環境変化にも揺るがない経営基盤の構築と持続的な成長の実現に取り組んでおります。その第一段階としてスタートした第5次中期経営計画もいよいよラストパートとなりました。

第5次中期経営計画で掲げた事業性評価や富裕層ビジネスといった各種の施策は着実に成果が上がってきており、概ね計画通りで着地できる見通しです。2018年度下半期はその総仕上げに取り組むとともに、「構造改革」による生産性の向上や営業力の強化、「イノベーションの加速化」による新たなサービスの創出といった、将来を見据えた体制強化にも取り組んでまいります。

重点テーマである「イノベーションの加速化」の取り組みにおいては、Web上で取引が完結する融資商品「ファストパス」、QRコードを使ったスマホ決済サービス「YOKA / pay (ヨカペイ)」などの新たなサービスを開始いたしました。また、スマホアプリ「Wallet+ (ウォレットプラス)」を展開する「Bank事業へ参画する他地域金融機関の拡大や、子会社「FFGベンチャービジネスパートナーズ」を活用したベンチャー企業の支援実績の積み上げなどの成果も出てきており、さらに伸ばしていきたいように取り組みを加速してまいります。

また、公正取引員会から承認を得て、十八銀行との経営統合を2019年4月に予定しております。統合後、親和銀行との合併は2020年10月を予定していますが、実施できる施策は前倒しを進め、統合効果の早期実現を目指してまいります。

2019年4月からの次期中期経営計画では、構造改革や十八銀行との統合効果により捻出される経営資源を成長戦略分野に振り向け、「法人・個人の金融サービスの高度化」「新たな事業・サービスの創出」などを実現し、持続的な成長へと繋げていきたいと考えています。

2018年度通期の業績見通し

2018年度通期の業績予想は、コア業務純益(3行合算)767億円、FFG連結当期純利益520億円を計画しています。

また、当社では、配当性向30%程度とする業績連動型の配当テーブルを設定しております。2018年10月1日に、当社普通株式5株を1株に併合する「株式併合」を実施し、併せて配当テーブルの見直しを行いました。配当性向に変更はございません。一株当たり配当予想は、年間85円(株式併合前の水準では2円増配の年間17円に相当)を計画しております。今後も業績向上に応じた株主還元で、株主の皆さまのご期待に応えてまいります。

今後も役員員丸となって業務に邁進してまいりますので、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

いま、「ベンチャー」がアツい。

最近そう感じたことはありませんか？

自由、ICT、都市圏、若者。

「adventure(冒険)」を由来に、リスクが高いという意味を含めて生まれた「ベンチャー」という言葉からは、かつてそんなイメージが連想されていました。

しかし近年は、先進的な取り組みがメディアで紹介されたり、各地でビジネスコンテストが開催されたりと、ベンチャー企業を取り巻く環境がどんどん盛り上がっています。

日本政府は起業支援に向けたエコシステム構築を目指す方針として「ベンチャーチャレンジ2020」を掲げ、また、さまざまな企業がベンチャー企業と連携することで新しい商品・サービスを生み出しています。

テクノロジーの発展により、産業構造や企業のビジネスプランが大きな変化の時代を迎える中、ベンチャー企業が持つ技術、そして迅速で大胆な挑戦は、次世代の産業を活性化させる中核であり、地域の課題解決に繋がるイノベーションの要と捉えられるようになりました。

社会の「困った」を解決する強さや魅力はどんなところにあるのか。

今回は、グループ会社・FFGベンチャービジネスパートナーズの投資先3社にご登場いただきます。

それぞれのビジネスや目的をワクワクする冒険のように語る言葉から、社会を動かすほどの情熱やアイデア、新たに生み出された未来の光を覗いてみましょう。

01

BIOLOGY
& HEALTH

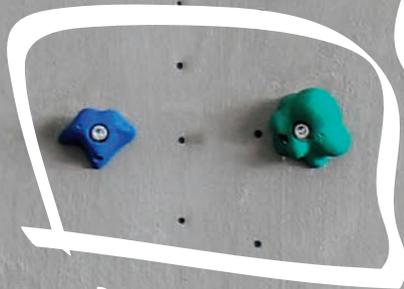
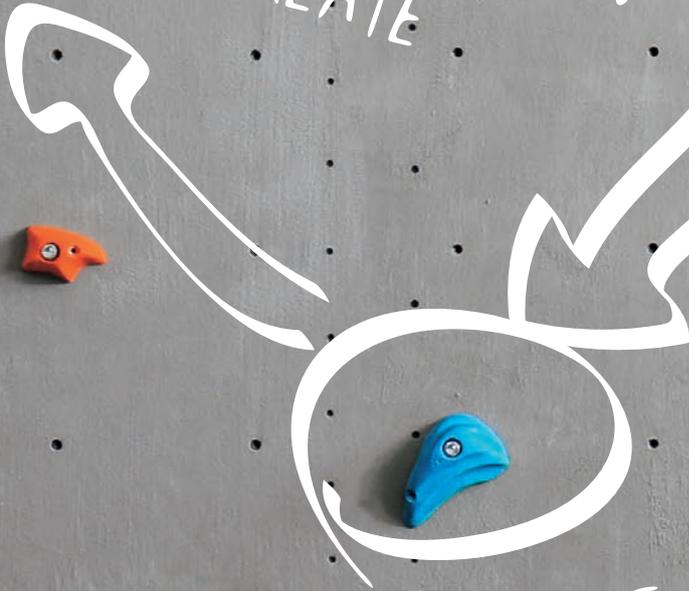


IMAGE & 02
CREATE



03 NATURE
& FUN

知財活用を目指し、大学で見出したカイコの可能性

を通じた幸せの種を、九州から世界へ

●カイコを活用したビジネスを展開されているそうですね。

九州大学で100年にわたり研究されてきたカイコをもとに、特別なたんぱく質を作り出し、創業などに活かすビジネスです。4年の準備期間を経て、今年4月に事業をスタートさせました。来年にはアメリカに進出する予定です。

私は神奈川県出身で、大学卒業後に勤めていた総合重機メーカー時代に長崎への赴任で九州へ来ました。その後、15年間勤めた会社を退職し、長崎の特産品を全国に届けるネット販売の会社を立ち上げましたが、2年後に再びサラリーマンに戻り、もう一度会社を作りたいという思いを抱えていたんです。そこで、事業づくりを根本から整理するために学問的に学んでみよう、九大ビジネス・スクールに入学したことが、今のビジネスに繋がりました。

●大学で研究されているカイコに着目したきっかけを教えてください。

受講した産学連携マネジメントという講座で、事業化の価値がある技術や知識が大学の中に多く眠っていることを知り、それらを普及させることが、世の中が潤う鍵になるのではないかと、大学内で起業のネタを探すのも面白そうだと考えるようになりました。実際にアメリカでは2000年代以降、大手製薬会社が大学発ベンチャーを買収することで、基礎研究をすることなく非常に大きなシェアを占めるまでに成長するなど、同じようなやり方で各産業が息を吹き返してきています。そこで修士論文のテーマ選別に、九州大学にあるシーズを調

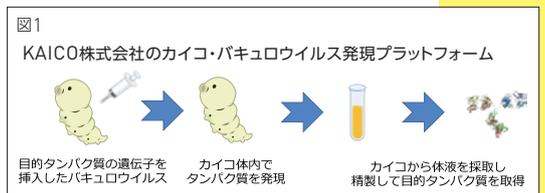
べたのが、カイコに着目したきっかけですね。文系出身の自分にとっても目で見てわかりやすく、先生方のお話から事業構想を描きやすいと感じました。

●4年後に実際に起業に至られたということですね？

せっかくビジネスモデルを作ったので、卒業後、ご協力いただいていた農学および工学の先生方とみなさんでお金を出し合って会社にしてうと動き出しました。同年、応募していた文部科学省が運営するSTARTプログラム(※)に採択されましたので、さらに3年間の準備期間を得ることができ、先生方は研究を進め、私は将来の顧客候補となる製薬会社や研究機関の方々へのヒアリングを通じて、マーケット情報の収集にあたりました。事前に繋がりを構築できたことや、思ってもみなかった需要を開拓できたことで、2018年4月に会社としてスタートを切った時点からお客さまとの関係がうまく始まり始め、今では少しずつ売上も上がっています。STARTプログラムはとても有効に活用させていただきましたね。

●具体的に、カイコのどのような特徴が創業に役立つのですか？

我々は、創業の研究に活用するための複雑なたんぱく質を作っているのですが、カイコの生虫は、それを生きた体の中で作るため、ヒト型に近似したたんぱく質を作ることができるとが特徴です。(図1)



の純系統のカイコの中から、農学部の先生が目的のたんぱく質の生産に向いている系統をスクリーニングし、安定的かつ効率的な生産が可能となったことで、この研究が事業シーズとなりました。その用途はさまざまですが、今後期待されているのが、ノロウイルスのワクチンです。

ノロウイルスは、予防のためのワクチンを作るのが難しく、現時点では感染した後の対処療法があるのみです。しかし、カイコのたんぱく質を使ってはじめてきれいな形でワクチンができることが分かりました。創業に至るまでには更なる研究が必要なので、まずは動物用の医薬品や教育用の試薬を開発し、販売することになっています。

●日本をはじめ世界中にニーズがありそうですね。広く知られるようになれば、更なる可能性や需要が生まれそうですね。

私たちは、研究機関や製薬会社からの「こんなものがほしい」に対して、カイコでいろんなものを作って応えていくプラットフォームでありたいと考えています。ニーズに合ったたんぱく質を生産し、各企業に自由に活用いただけるよう、さまざまな製薬会社のパートナーとして研究を進めていきたいですね。カイコを生物学的に研究しているのは世界中でも少なく、今では日本でも数大学に限られています。これ

創薬

まで斜陽産業となり、光が当たらなくなっていたカイコの可能性を広げていきたいと考えています。

● 事業を通じて実現したいことは何ですか？

「商業」「研究」「環境」の3つのサイクルを回していくことです。まず第1に、商業的な医療品の開発で人々を健康にする。次に、商業的に得られたメリットを、アカデミックな分野に還元していく。カイコが生み出すたんぱく質を使って研究成果や資金を生み出せば、研究開発が進みます。そして3つめに、カイコの餌である桑の葉を育てることで、グリーンサイクルを回したいと考えています。私たちの商品がたくさん売れることにより、カ

イコがたくさん使われる。つまり、桑の葉を必要とするということです。一般的に薬を作るといって化学合成が多いため二酸化炭素を排出しますが、私たちの事業は逆に二酸化炭素を回収します。最近、会社の近くに桑の木を植える試みを始めたんですよ。自然環境にプラスに働き、なおかつ体に効く薬を生み出せるならそれほど良いことはありません。

また、国内の養蚕農家は、高度経済成長長期に化繊が普及し、シルクの需要が減ったことで、減少の一途を辿っていました。現在、カイコが作る繭の金額は非常に安いのですが、創薬への活

用であれば、もっと農家の収益に繋がるような金額で取引することができます。当社の商業的な成長は、こうした研究開発や農業・地域振興に貢献する事業として好循環を生み出していけると考えています。

● 大学発の魅力は何でしょうか？ 国も大学発ベンチャーを支援していて、盛り上がってきていると感じます。

起業する側のメリットとしては、大学の技術を活用するため、自分が「から技術やアイデアを生み出さなくてもできることです。その分、求められるのは調整力。大学の先生方はもちろん、地域、関係者を巻き込み協力していただくことで事業を形にしていきたいため、社会経験が豊富な人のほうがスタートしやすいと感じます。大学の先生方からは、技術的なアドバイスと協力を獲得し、起業意欲のある方が事業を創造することにより、大学の研究加速と研究成果実用化の両輪が回ることが理想の形だと思います。

そのためにも、大学の研究予算が減少する中、研究開発の成果が社会に評価されて対価を得ることで、アカデミックな運営を可能にする仕組みづくりが必要だと考えています。お金があつてこそ、教育や基礎研究に投資ができるのですから、大学発ベンチャーが盛んになり大学に還元していくのはとても価値のあることです。

● 大和社長にとっての起業することの意義は何でしょうか？

私は45歳で九州大学ビジネス・スクールに

入学し、50歳で起業しました。以前勤めていた会社での仕事もとても好きでしたが、組織にいればいつかは定年が来ます。その後の人生が2、30年あるとすれば、自分は今のうちから一生できることを見つけなければいけないと思ったんです。自分で会社を作れば引退する時期は自分で決められるし、人に任せられることもできる。スタートが40代でも、新しいことをやりたいという気持ちがあればできるという見本になれば嬉しいですね。

● 今後のビジョンを教えてください。

まずは来年アメリカに拠点をつくり、グローバルに展開している製薬会社などと共同研究開発ができるような体制を整えて、医薬品の最大市場であり、タンパク質製剤研究の最先端でもあるアメリカで、いろいろな薬を販売していこうと思っています。世界には出て行きませんが、信頼のおける九州大学のカイコを使い、桑畑に囲まれたこの場所で、人々の幸せに繋がる、世界に誇れる医薬品を九州から届けていきたいと思っています。

代表取締役社長
大和 建太さん



※START (大学発新産業創出プログラム)
大学の技術シーズに対し、研究開発・事業育成の公的資金と民間の事業化ノウハウ等を組み合わせ、事業化を支援するJST(国立研究開発法人科学技術振興機構)のプログラム

IMAGE & CREATE

代表取締役社長

河野 秀和さん



●服を作りたい方と、作る技術を持った工場のマッチングサービスを展開されているそうですね。事業のアイデアはどのようにして生まれたのですか？



私はもともと地元熊本で、経営コンサルタンとして地場企業をサポートしていました。熊本は昔からファッション文化が栄えていて、支援先にはセレクトショップなどの小売店も多かったのですが、あるお店から「オリジナル商品を作りたいが、小ロットでは生産ができません」と相談を受けたんです。そこで、できないはずはないと思って工場に事情を説明したところ、「タイミングよくラインが空いているから」と引き受けていただくことができました。しかも、お客さまにはとても喜んでいただきました。しかし、なぜできないのかが気になって調べると、業界の慣習では小売店と工場の間には卸売業者、メーカー、商社などが絡む多重構造があることが分かりました。じゃあ、

それを誰かが集約するとともに、工場の閑散期をしっかりとデータベース化できれば、小ロットでの生産も可能になるのではないかと考えたことが始まりです。

●各工場からどんな反応が寄せられていますか？

閑散期をどう埋めるかはこの工場にとっても課題で、国内の縫製工場数は15年前から約3分の1に減少しています。空いているラインを使ってほしいと、今では全都道府県の約600工場と提携させていただくまでになり、小ロットから大手アパレルの数千枚単位のニーズまでも応えられるようになりました。このような体制のもと、服を作りたいと依頼をいただいたクライアントは9,600先を超え、今後もより幅広いニーズに対応するため、海外にも拠点を拡大していく予定です。

●服の作り手側からはどのようなニーズが聞かれますか？

小売店やアパレルブランドはもちろん、最近では企業のワークウェアや自治体の制服といった依頼も増えていきます。他にも、整体師の先生が骨盤ベルトを作られたり、熊本地震の際には、使用されたブルーシートを素材にバッグを作るといふプロジェクトをお手伝いさせていただいたこともありました。やり取りは、全てマイページ上でチャットするような形で行います。ご希望を伺って工場の特徴や設備、人員構成などをとらえてマッチングをし、デザイン提案などもさせていただいています。

●現在注力されていることはありますか？

私たちの事業をインフラに、衣服産業が何十年と抱えてきた在庫問題を解決する取り組みを新たに展開しています。一般的に洋服は、定価で売れるのが4割、セールで4割、残り2割は焼却処分されます。そこで、当社の強い開発力を活かして、完全受注生産を可能にするオンライン販売サイトを立ち上げ、各ブランドに売り場として提供するというシステムの普及に注力しています。

これまでは「購入」を押すと在庫から発送されるのが通常でしたが、このシステムでは、お店が設定した数字、例えば「100枚」や「50枚」に注文数が達した時点で生産を開始するため、在庫が生まれません。これは、ものを大切にしている価値観に寄り添うものだと思います。購入者だけに商品が作られているシーンが映像で届くなど、待つ間も楽しめるサービスにしていく予定です。在庫ロスがなくなると原価率が上がる、つまり商品の価格が下がるといふこともメリットの一つです。

●まさにテクノロジーを使ったイノベーションですね。どんな社会をイメージされていますか？

テクノロジーだけでなく、それをうまく活用するための仕組みをまず人が作って、動かしていかなければいけません。当社は、人・しくみ・テクノロジーの力で、人々の新しいものを作り出すための想像力を引き出し、「知的想像」と「その知によって価値あるものを創造すること」をうまく組み合わせて、より豊かな社会を作っていきたいと思っています。

誰もが自由に衣服を生産できるプラットフォーム

人々の想像力を引き出し、より豊かな社会へ



アウトドアの体験に寄り添う登山アプリ

風土を知り街を想い、寛容性の文化の共有へ

NATURE & FUN

代表取締役社長
春山 慶彦さん



●2013年から展開されている登山アプリ「YAMAPP」は、ダウンロード数が110万を超えているそうです。

日本の登山人口約700万人のうち、1割以上の方にYAMAPPを使っていただいていることとなります。40代以上がユーザーの半数を占めるという、スマホアプリとしてはユニークな年齢構成です。YAMAPPが登山者の方々にご支持いただいている背景としては、電波が届かない山の中でも現在地が分かる安心・安全と、登山の記録や写真を簡単に共有できる利便性の両方を提供できているからだと考えています。

●山中でもスマホで自分の位置情報が確認できるのはどうですか？

通常の地図アプリは、地図を表示するのに携帯の電波を必要とするため、圏外では役に立ちません。YAMAPPの場合、街や家など携帯やWi-Fiの電波が繋がっている時に、山の地図をダウンロードしスマホ本体に保存してもらうので、携帯の電波が届かない山の中でも山の

地図が使えます。その地図に、スマホのGPS機能で取得した自分の位置情報を合わせることで、山の中でも現在地が分かるのです。(※近年、社会問題になっている山の遭難・道迷いの事故を、少しでも解決できればという思いもあり、登山を安全に楽しむ土台を作ることが、YAMAPPの主な目的です。

(※GPSは宇宙衛星から位置情報を取得するため、電波の有無は関係がない)

●なぜ登山をビジネスに選ばれたのですか？

私自身が山や自然に親しむようになったのは、19歳の頃訪れた屋久島で、地元の方に連れられて海に潜り「こんなに素晴らしい世界が身近にあったのか」と、自然の美しさに衝撃を受けたことがきっかけでした。その後、日本、海外と生活する中で、日本社会が抱える生きづらさや、地域の疲弊といった課題の原因は、自然の中で体を動かす機会が減っていることにあると考えられるようになりました。つい50年前まで人々は自然と向き合っており、例えば杉の木を植えるタイミングを3世代かけて見極めるなど、100年、200年のスパンで自分がどう行動するかを考え生きてきました。ですが、都市化が進んだ現代社会では、首から上だけで物事を考えがちになり、近視眼的なものの見方や、自分のことだけしか考えない偏った個人主義が幅をきかせてしまっているように思います。そこで、都市と自然をポジティブに繋ぐアクティビティは何かと考えた時、登山にすぐく可能性を感じました。日常的に自然の中で体を動かすことは、その土地の風土を知り、暮らしている街に思いを馳せることに繋がります。風土に対する思いが共通項としてあれば、違つ意見を受け入れて協力し合う、日本がもともと持っていた寛容性の文

化を、私たち現代人も共有できるはず。スマホがオフラインでも活用できると気づいたことと日本社会の課題が重なり、これに人生をかけようと事業をスタートさせました。

●登山に関心が集まれば、地方に人を集めることにも繋がりますね。

地域の自然を観光コンテンツに組み込んで、その土地をゆつくり楽しみ学べる機会を増やしていきたいですね。近年は、各自治体や地元企業とのコラボ企画にも取り組んでいます。アプリ上で地域のハイキングコースを提案すれば、体験した方が活動日記をアップして、その土地の魅力を発信してくれます。また、そういった発信が増えることで、地元の方も自分たちが暮らしている街の魅力や価値を再発見する機会に繋がっていくと感じています。世界を広く旅するのもいいですが、自分が暮らしている街の自然や歴史を知ること、立派な旅であり冒険のほうです。今いる場所を慈しみ、住みよい場所のまま次の世代に引き継ぐことは、YAMAPPがベンチャーとしてやるべき仕事のつだとも思っています。

●今後どのような展開を検討されていますか？

遭難防止だけでなく、遭難してしまった時にも迅速な救助に繋げるなど、安全・安心により役立つサービスにしていきたいと思っています。先々は登山と相性のいい国への進出も検討していますが、まずは自然が豊かなこの日本で、暮らしに身近なアクティビティとして登山が根づくよう、ユーザーの皆さんと一緒に山の楽しみ方を発信していきたいです。

新たな事業を生み出し、地域に根づかせることを目指して

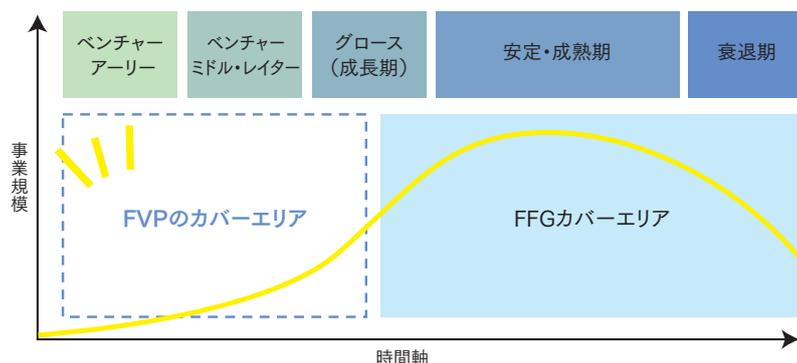
FFGは、さまざまな切り口でベンチャー支援に繋がる取り組みを展開しています。グループ会社「FFGベンチャービジネスパートナーズ」では、投資業務による資金的な支援に加え、経験豊富なベンチャーキャピタリストの専門性やネットワークを活かしたアドバイスをを行います。また、ハードとソフトの両面をご提供する「ワーキングスペース」や、全国を縦

断して開催する「ピッチコンテスト」により、地元九州に限らず広くオープンイノベーションを加速化させます。FFGは、新しい事業が産業として発展し根づくよう応援することで地域経済活性化に貢献し、さらに、その技術やノウハウを取り入れることにより、自社も環境変化に対応しながら成長していくことを目指しています。

FFGベンチャービジネスパートナーズ(FVP)

2016年4月にフィンテック企業を中心とした投資業務をスタートした地銀系ベンチャーキャピタルです。2017年4月からは、投資対象先を株式上場やM&Aを目指すあらゆる企業に拡大し、ベンチャーの起業、成長の後押しや、新たな産業の育成を目指して、各種取り組みを実践しています。

お客さま(企業)のライフステージに応じてサポートいたします。



ハード面の提供

人・アイデアを結びつけて新しい価値を共創

2017年4月に東京・八重洲に新設した「DIAGONAL RUN TOKYO (ダイアゴナルラン東京)」は、スタートアップ企業などが入居できるスモールオフィスや、セミナー開催などが可能なコミュニティスペースを有するワーキングスペースです。

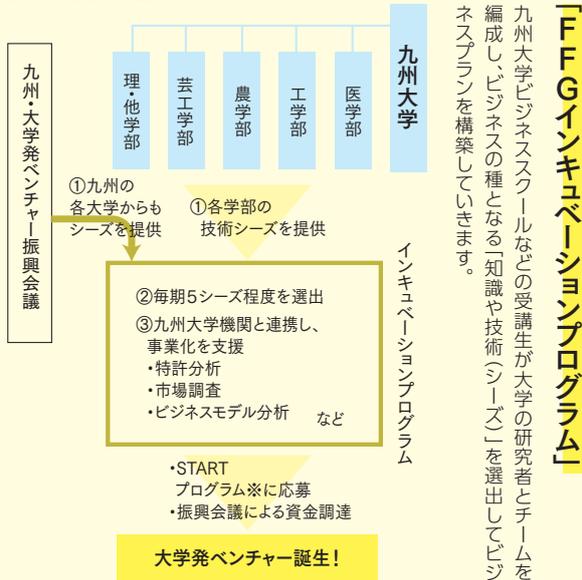
2018年には、第2の拠点として福岡市中央区西中洲に「DIAGONAL RUN FUKUOKA (ダイアゴナルランフクオカ)」をオープンしました。地元九州と東京の境界を越えた事業共創への取り組みを、地方創生に繋げていきます。



大学との
連携

大学発創業支援への取り組み

FFGは、九州の各大学が保有するポテンシャルの高い技術シーズに対して、金融機関や経済界と連携し、ともに事業創出に取り組む「九州・大学発ベンチャー振興会議」に参画しています。また、2018年10月からは九州大学と共同研究契約を締結し、大学発ベンチャーを支援するFFGインキュベーションプログラムを開始しました。



「FVPの取り組み」

●あらゆるステージに応じた投資・支援を行います。大学発ベンチャーの創業に向けた支援を行います。

●世の中、そして地域の課題を解決するさまざまな業界の起業家を応援します。

●九州のお客さまとのマッチングを積極的に行い、化学反応を起こすお手伝いをします。

マッチング
イベント

2019年1月開催！

「X-Tech Match-up 2019」

FFG3行のお取引先である地場企業を対象に、主にFVPの投資先ベンチャー企業約30社が有する最新テクノロジーを駆使した各種サービスを紹介する商談イベントを開催します！

不動産
×
AI

マーケティング分析
×
ビッグデータ

業績改善
×
IoT

アイデア発掘

全国規模の ピッチコンテスト

各業界・業種を横断する、デジタル技術を活用した新しいサービスを広く募集する「X-Tech Innovation」を継続開催し、事業化に向けたサポートや既存ビジネスへの活用可能性を模索しています。2018年度は北海道（札幌）、東北（仙台）、九州（福岡）、沖縄（那覇）での共同開催に拡大しました。日本縦断型のサービスイノベーションを起こす取り組みを目指します。



連携

最新テクノロジーの 導入による 商品・サービスの展開

ベンチャー企業が持つデジタル技術を積極的に取り入れ、サービスの高度化や、生産性向上を目指す構造改革に役立てています。

- AIスタートアップ企業と連携して地場企業を対象に開催する「AI体験プログラム」
- 事業者の口座情報を活用した自動審査による融資のオンラインサービス「ファストパス」
- FVP投資先のRPA技術の導入による社内の業務プロセス自動化

「OPEN AI LABO (AIラボ)」

人口知能 (AI) による機械学習ツールを開発・提供する、株式会社グループノーツと連携し、運営しています。地場企業を対象に「AI体験プログラム」を定期開催し、あらゆる企業の経営課題である最新テクノロジーの活用をサポートしています。



FFGの商品 & サービスラインナップ

福岡 福岡銀行での取扱い 熊本 熊本銀行での取扱い 親和 親和銀行での取扱い ※特に記載がないものは3行共通の商品・サービスです。 2018年12月1日現在

将来に向けた資産形成
そして結婚・出産・住宅・教育財形住宅預金
積立式定期預金「ためる〜んKIDS」
教育贈与専用預金

住宅購入資金

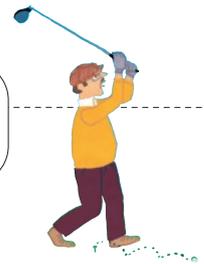
住宅の平均購入価格は
世帯年収の約6.3倍※2
全国平均 3,308.2万円ローンセンター
火災保険
債務返済支援保険(住宅ローン)自動送金サービス
外国送金

お子さまの教育資金

幼稚園から大学卒業まで

※3
全国平均 1,038.8万円+
自宅外通学者の場合

仕送り 年間 93万円(月額7.7万円)

住宅セミナー
建築士サービス
確定申告セミナー 福岡住宅ローン
フラット35
リフォームローン
住まいるローン(団信付帯可)
住まいるローンワイド(団信付帯可)
カードローンTHE FIRST学資ローンDX(団信付帯可)
教育カードローン
ホームエクイティローン毎日笑顔で過ごしたい
セカンドライフ大口定期預金
年金定期預金「夢いっぱい」介護終身保険
個人年金保険
終身保険
暦年贈与信託
ずっと安心信託
投資一任運用サービス「ファンドラップ」人生100年時代を
見据えた資産活用を
お手伝いいたします。

〈 FFG証券の商品 〉

株式
公共債・社債・外国債券等
投資信託FFG証券では、銀行では
取扱いの無い商品も幅広く
ラインナップしております。ローンセンター
火災保険

債務返済支援保険(住宅ローン)

自動送金サービス
外国送金

退職金

60歳で定年退職した場合

※4
平均 2,374.2万円貸金庫
投資信託運用報告会
会員制サービス「グランドマイバンク」
年金受取
年金提携サービス
年金受取予約サービス「夢プラン」
年金セミナー
相続関連サービス
相続セミナー
セカンドライフノート
プラチナカード
サポートデスク(相続・年金・介護)

リバースモーゲージローン 福岡 熊本

メディカルローン
メモリアルローン
空き家解体ローン
地域活性化空き家ローン

*高校・大学は国立・私立を合わせた全体の平均[教育費負担の実態調査結果]日本政策金融公庫/平成29年度 ※4 [2016年9月度 退職金・年金に関する実態調査結果] (社)日本経済団体連合会 管理・事務・技術労働者・総合職・大卒を標準とした場合

Debit+・Wallet+について

福岡銀行 ☎ 0120-117-985

熊本銀行 ☎ 0120-189-066

親和銀行 ☎ 0120-122-312

YOKA! Payについて YOKA! Payサービスデスク(受付時間 平日9:00~17:30銀行休業日を除く)

福岡銀行
個人のお客さま向け

☎ 0120-481-004

加盟店向け

☎ 0120-481-033

熊本銀行
個人のお客さま向け

☎ 0120-745-557

加盟店向け

☎ 0120-123-272

親和銀行
個人のお客さま向け

☎ 0120-253-948

加盟店向け

☎ 0120-253-948

FFG証券の商品に関する
お問い合わせ

お客様サポートセンター

0120-066-257

(受付時間 平日9:00~17:00
土・日・祝日、年末年始を除く)



ライフステージに合わせた、幅広いニーズにお応えできる商品・サービスをお客さまの立場に立ってご提供します。



就職、社会人生活 そして銀行デビュー



預金

総合口座
インターネット専用口座「ネットワン」
積立式定期預金「ためる〜ん」
一般財形預金

スーパー定期預金(スーパー定期300)
バースデー定期
財形年金預金

資産運用・資産形成

NISA(少額投資非課税制度)
積立投資信託
積立式外貨普通預金「ためる〜んWorld」^{福岡}
個人年金保険

つみたてNISA
ジュニアNISA
学資保険
個人年金保険
養老保険
終身保険
医療保険
がん保険
定期保険
収入保障保険

傷害保険
投資信託
公共債
スーパー外貨定期預金
個人型確定拠出年金
(iDeCo)^{福岡}
ネット保険の窓口販売
外国債券等(金融商品仲介業務)
証券会社紹介サービス
インターネット専用投資一任
サービス「THEO+」



その他サービス

アレコレカード
アレコレSUGOCA
アレコレnimoca ^{福岡 熊本}
ETCカード
ダイレクトバンキングサービス
(インターネットバンキング・モバイルバンキング・テレホンバンキング)
外貨両替
外貨両替予約販売サービス(インターネット)
海外旅行保険(インターネット) ^{福岡 親和}
自動車保険(インターネット) ^{福岡}
Debit+
Debit+ nimoca、Debit+ SUGOCA ^{福岡}
お金管理アプリ「Wallet+」(iBankマーケティングのサービス)

給与振込
ポイントくらぶ「マイバンク」
YOKA! Pay
口座開設アプリ

マネーセミナー
公共料金自動振替
ライフプランシミュレーション



結婚式の費用

挙式・披露宴・披露パーティー

九州平均 ^{※1} 377.6万円



融資

ニューオートローンDX(団信付帯可)、残価設定型オートローン
ロードバイクローン、カメラローン、楽器ローン
フリーローン「ナイスカバー」(団信付帯可)、アレコレカードローン
福岡銀行カードローン
熊本銀行カードローン
親和銀行カードローン

ブライダルローン



※1「ゼクシティ 結婚トレンド調査2018」調べ ※2「2017年度フラット35利用者調査報告」住宅金融支援機構 注文住宅融資利用者が購入した平均価格 ※3・幼稚園・小中学校は公立の場合「子供の学習費調査」文部科学省/平成28年度

お問い合わせ先

商品・サービスに関するお問い合わせは、FFG各銀行の窓口、ホームページ、または下記ダイヤルまで。

定期預金・ためる〜ん・その他照会について
テレホンサービスセンター
福岡銀行 ☎ 0120-788-321
熊本銀行 ☎ 0120-189-066
親和銀行 ☎ 0120-122-312

ローン・資産運用などについて
ダイレクトコンサルティングプラザ
福岡銀行 ☎ 0120-788-324
熊本銀行 ☎ 0120-333-086
親和銀行 ☎ 0120-34-3456

アレコレカードについて
福岡銀行 ☎ 0120-788-324
熊本銀行 ☎ 0120-189-066
親和銀行 ☎ 0120-34-3456

銀行カードローンについて
カードローンプラザ
福岡銀行 ☎ 0120-608-292
熊本銀行 ☎ 0120-608-912
親和銀行 ☎ 0120-608-400

※受付時間：平日9:00～20:00(但し、銀行休業日は除きます)

現金感覚カードで便利に払う

Debit+

口座にある残高が限度額だから、
使いすぎる心配なし。お買い物するたび
Wallet+にポイントが貯まってお得。

お金をアプリで賢く貯める

Wallet+

目的ごとにお金を貯められるマネーアプリ。
収支チェックが可能で、
Debit+のお買い物データも反映。



ペア使いで、 マネー上手。

Debit+

デビットプラス 検索



福岡銀行



熊本銀行



親和銀行

Wallet+

ウォレットプラス 検索



【Debit+について】

- ・キャッシュカード機能はなく、ATMでのご利用はできません。
- ・一部即時引落にならない場合やご利用対象外の加盟店がございます。
- ・一般カードは1,350円、ゴールドカードは10,800円の年会費(税込)がかかります(一般カードは初年度無料)。
- ・福岡銀行・熊本銀行・親和銀行に普通預金口座をお持ちの15歳以上の個人のお客さま(中学生除く)がご利用いただけます。
- ・お一人さまにつき一枚のみの発行となります。

【Wallet+について】

- ・Wallet+はiBankマーケティング株式会社が提供するサービスです。
- ・Wallet+の預金サービスは福岡銀行・熊本銀行・親和銀行が提供するサービスであり、預金サービスのご利用にはいずれかの銀行の普通預金口座(個人のみ)の登録が必要です。

お申込みはWeb・各銀行の店頭で



福岡銀行



熊本銀行



親和銀行

平成30年12月1日現在

デビットプラス

Debit+



ウォレットプラス

Wallet+

現金感覚カードで便利に払う

「お金の見える化」で誰でもマネー上手に。



口座直結

銀行口座から、残高の範囲でお支払いできる。
ご利用代金はご登録口座から即時引き落とし。
現金引き出しや事前チャージも必要なし。



残高照会

アプリに普通預金口座を登録して、いつでもチェック。



明細照会

日々のお金の動きをアプリ上でキャッチ。



収支管理

アプリが自動で口座の収支を計算してくれるから、管理がかんたん。

ペアで使うと便利でおトク!

✓ 年会費無料!

Debit+の取引口座をWallet+の
"メイン口座"として登録している場合、
Debit+の年会費が無料に!

※ゴールドカードは対象外です。
※その他の年会費無料条件もございますので、
詳しくは窓口またはホームページをご覧ください。

✓ 明細が見える!

利用状況が、Wallet+の収支情報に
反映されるので、引き落とし口座の残高
(=Debit+の利用限度額)も手軽にチェックできます。

✓ Debit+でのお買い物でポイントが貯まる!

myCoin (マイコイン)

もっとおトクに! /

myCoinは、「Debit+」のショッピング利用や、各種キャンペーン、クーポンのご利用に応じて「Wallet+」内でたまるポイントサービスです。
「Wallet+」でポイント残高や履歴を確認いただけます。



【一般カード】

ポイント付与率 **0.5%**



【ゴールドカード】

ポイント付与率 **1.0%**

【付与単位】一般カード:200円につき1ポイント 【付与単位】ゴールドカード:100円につき1ポイント

★貯まったmyCoinは、貯蓄口座にキャッシュバックしたり、
他社ポイントへの交換ができます!



貯蓄口座にキャッシュバック
1ポイント→1円



提携ポイントへ交換
1ポイント→0.9ポイント

選べる特典

もっと“気持ちに寄り添う”サービスに

- 貯まったmyCoinの使い道はさまざま！
 - ・地域の特産品や工芸品など、豊富なギフト商品と交換
 - ・Wallet+を通じて、キャッシュバックや他社ポイントに交換



※写真はイメージです。

ステージ制 クラス

ど“おトク”に

ステージ制に加え、
myCoin(マイコイン)が貯まります。



(myCoin=
3行の「Wallet+」
「Debit+」で付与される
ポイントと同じもの)

FFGは、お客さまに銀行とのお付き合いをもっと楽しんでいただき、
お客さまの日々の生活を豊かにするだけでなく、
地元・九州を元気にする仕組みを構築していきたいと考えています。

2018年12月1日現在

- 「my bank+」は、銀行のお取引内容に応じ、各種手数料の割引が受けられたり(ステージ制)、お取引によって貯まったmyCoinをギフト商品や他社ポイント等に交換できる(マイレージ制)ポイントサービスです。
- myCoinとは、お金管理アプリ「Wallet+」を提供するiBankマーケティング株式会社(株式会社ふくおかフィナンシャルグループの連結子会社)が運営するポイントサービスです。(1myCoin/1円換算)

本件に関するお問い合わせ先 FFG営業統括部 担当 宮里・政吉・甲斐 TEL.092-723-2586

2004年よりこれまで15年間ご利用いただいた
ポイントクラブ「マイバンク」が、2019年4月、FFG3行で生まれ変わります！

入会金・年会費
不要

利用するほど、あなたにプラス。

my bank+

マイバンクプラス

マイル をプ

付き合うほど

Web上で いつでも見える

“貯める”を楽しく

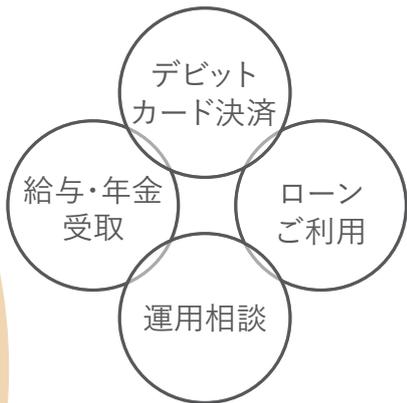
- Web利用登録をすると、いつでもパソコンやスマートフォン上で利用状況を把握することができます。
- ・ myCoinの獲得情報
- ・ ステージや特典
- ・ コンビニATM手数料無料回数

myCoinの確認
myCoinの獲得情報や利用履歴などの情報を確認することができます。

お客様のステージの確認
お客様の取引状況やコンビニATM手数料無料回数、特典内容の確認ができます。

myCoinの利用
お客様の保有するmyCoinをギフト商品への交換を行うことができる「FFGギフトセレクション」

お客さまにお得な情報提供
お客さまのライフステージやお取引状況に応じた、サービスや金融商品の提案を行います。



- これまでの三ツ星、四ツ星、五ツ星
お取引の内容に応じてポイント「m

「mybank+」におけるmyCoin付与条件等、サービス詳細については2019年2月から銀行HPや店頭パンフレット等でご確認いただけます。現在のマイバンク会員の方は、mybank+の会員に自動で移行させていただきます。

FFG TOPICS



ふくおかフィナンシャルグループの最近のトピックをご紹介します

十八銀行との経営統合

当社グループと株式会社十八銀行は、2016年2月に「経営統合に関する基本合意について」を公表後、2018年8月に統合承認(クリアランス)を取得しました。同年10月30日には、両社間で2019年4月に株式交換による経営統合を行うことについて最終的な合意に至りました。

経営統合による効率化を通じて、人口減少など厳しい環境下においても、将来にわたり長崎県経済の発展に貢献する地域金融機関としての役割を果たしていくことを目指します。

今後のスケジュール

- 2019年 4月 経営統合
- 2020年10月 親和銀行と十八銀行の合併



地域活性化への取り組み

当社グループは、地方創生に資する取り組みを展開しています。

●農業支援

日本政策金融公庫、福岡キャピタルパートナーズと設立した「FFG農業法人成長支援ファンド」は、有機JAS認定圃場でトマトセロリを栽培する「株式会社鳥越ネットワーク(田川郡)」と、イチゴの観光農園を運営する「株式会社ちくしの農園(筑紫野市)」に出資しました。



●事業者支援

親和銀行は、諫早市で農業関連事業者向けに、佐世保市で工業関連事業者向けに、それぞれ個別相談会を開催しました。専門家によるアドバイスや提案を課題解決に繋げ、地域産業の活性化を目指す取り組みです。



キャッシュレス推進

●「YOKA / pay」の利用拡大

福岡銀行で先行してスタートしていたスマホ決済サービス「YOKA / pay(よかペイ)」を、7月より熊本銀行、親和銀行でも取扱いを開始しました。お互いの加盟店で相互利用が可能な「銀行pay」にも対応。2019年2月にはゆうちょ銀行の参加が予定されています。

●イベント開催

キャッシュレス化推進イベントとして、福岡大学と共同で「YOKA / pay学園祭 presented by 福岡大学」を開催しました。福岡大学商学部二宮ゼミの学生が中心となつて企画・運営した本イベントには、地元他大学の学生も参加し、ふくぎん本店広場で食べ物や雑貨類などの販売を通じて、幅広い年代のお客さまにキャッシュレス決済を体験していただきました。また、学生たちと福岡銀行の若手行員が、次世代のキャッシュレス社会について考える「キャッシュレスセッション」も行いました。



行員と学生によるキャッシュレスセッション

セミナーの開催

GCA株式会社との共催により「企業成長戦略セミナー」を開催しました。日本たばこ産業株式会社（JT）の元副社長である新貝康司氏による基調講演のほか、三井松島ホールディングス株式会社の串間会長や当社役員も交えたパネルディスカッションを行い、参加者とともに企業の成長戦略を考える貴重な機会となりました。



映画への協賛

2018年10月より上映された、映画「オズランド」に笑顔の魔法おしえます。」に協賛しました。本映画は、熊本県荒尾市の遊園地「ブリンランド」を舞台に、都会育ちの新入社員が奮闘し成長する姿を描いた、お仕事エンターテインメントです。

FFGは、幅広い世代に向けて当社ブランドを発信し、熊本の街おこしに資する取り組みに賛同することで、地元・九州の地域活性化への貢献を目指しています。



©小森陽一/集英社 ©2018 映画「オズランド」製作委員会

店舗・ATM情報

当社グループでは、より利便性の高い店舗づくりを通じて、お客さまに「あなたのいちばんに。」を感じていただけるサービスの提供を目指しています。

2018年7月には、6月に移転した熊本銀行保田窪支店の跡地に、無人のサービス拠点「サテライトプラザ保田窪」を開設しました。ATMコーナーに「テレビ相談窓口」を併設した新しい形態の店舗です。今後も、デジタル技術を活用し、より多くのお客さまにご満足いただけるサービスを展開してまいります。

7/2 新規オープン

熊本銀行
サテライトプラザ保田窪
熊本県熊本市中央区帯山4-55-8



●テレビ相談窓口

テレビ電話を通じてオペレーターと対話しながら、タブレットを使って新規口座開設（個人のみ）や各種変更手続きを行うことができます。
営業時間／平日 9:00～15:00

●税金・公共料金セルフ収納機

営業時間／平日 9:00～14:00

●ATM／通帳繰越機

当プラザのATMでは、平日8:45～18:00の間、硬貨もお取扱いいたします。
営業時間／平日 8:00～21:00
土日祝 8:00～21:00

※お手続きの内容によっては、最寄の有人店舗をご案内させていただきます。

FFGのコーポレートコミュニケーション(IR)年間カレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
決算発表		●本決算			●第1四半期決算			●中間決算				●第3四半期決算
株主総会			●									
会社説明会		●						●				
有価証券(四半期)報告書			●		●			●				●
ディスクロージャー誌			●あなたのいちばんに。編		●財務データ・資料編				●あなたのいちばんに。編 本誌		●財務データ・資料編	
Annual Report						●						

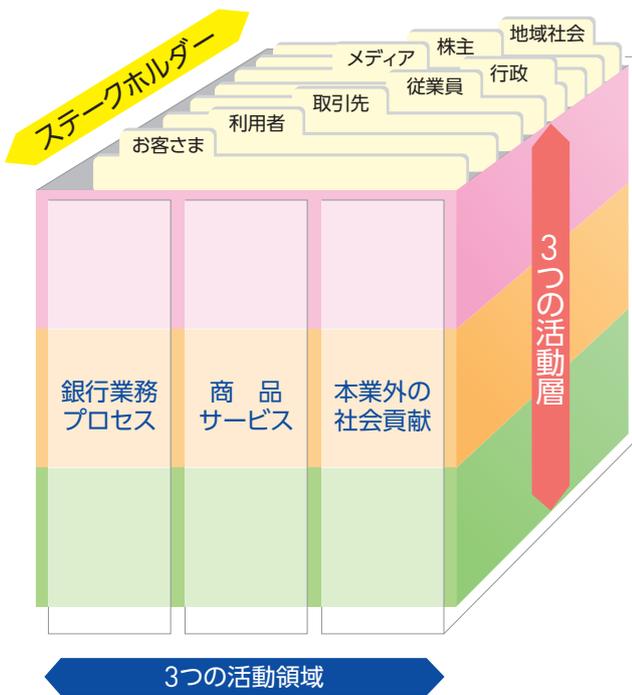
CSRレポート 2018

Corporate Social Responsibility Report 2018

当社グループでは、経営理念の実践とも言うべき事業活動そのものが、「CSR」と考えています。

CSR
CUBE

3つの活動領域と
3つの活動層の
組み合わせ



活動層

1 環境共生活動

→p.23

地球に負の影響を及ぼす環境負荷の抑制・軽減に努め、環境保全に資する商品・サービスを提供します。

活動層

2 生涯学習支援

→p.24

全ての人々のライフサイクルに応じたさまざまなシーンで、金融知識の普及を通じた生涯学習を支援してまいります。

活動層

3 ユニバーサルアクション

→p.25

店舗や商品・サービス、窓口での対応などさまざまな面において「みんなにやさしい」アクションを展開します。

銀行業務プロセス によるCSR

コーポレートガバナンス、法令等遵守、各種リスク管理、情報開示といった企業経営の根幹となる体制構築・整備をはじめ、従業員の雇用や自らの環境負荷軽減活動などといった、銀行業務の全プロセスにかかる取り組み。

銀行の商品・サービス によるCSR

銀行の持つ金融機能を活用して、社会的に意義ある商品・サービスを開発・提供する取り組みおよび金融ビジネス。

本業外の社会貢献 によるCSR

本業とは直接的な関係は薄いが、経営資源を活用して、社会的課題に関与する取り組み(ボランティア、文化芸術活動など含む)。

「学生ビジネスコンテスト」

FFGでは、社員が持つ知識や経験を活かして、未来を担う学生たちの成長をサポートしています。



「金融×○○」 学生たちとともに未来を考える

FFGは、「コンサルティングファームPwC」と、福岡のスタートアップコミュニティ「明星和楽実行委員会」が開催する学生ビジネスコンテストに出題企業として参加しました。出題にあたって掲げたキーワードは、「金融×○○」。10年先や20年先の金融をイメージして「○○」に当てはめたいテーマを学生たち自身に考えていただき、FFGデジタル戦略部の社員を中心に、有志の若手行員がプレゼンテーション作成をサポートしました。

8/20

1. 社員とのディスカッション

出場する個人・チームごとにFFG社員が付き、まずは金融機関の現状や周囲環境についてレクチャー。直面する課題や銀行法に基づいたサービス展開について、学生たちの疑問に応えながらアイデアを引き出し、具体化へ。



若く自由な発想が、リアルな現実からどんなイノベーションを起こせるかを探るため、あらゆる方向に話を展開。



8/31

2. 予選



プレゼンテーションの持ち時間は、スタートアップ・ピッチコンテストの標準時間と同じ、3分間。その後、審査員との質疑応答も。

ディスカッションから10日間で、各人・各チームが自身のアイデアをどう事業化できるかまとめたプレゼンテーションで予選に挑戦。FFG社員を中心とした審査では、

- ・テーマにマッチしているか
- ・提案内容に「wow!」はあるか
- ・プレゼンターから情熱と信頼を感じるか

という3つの基準をもとに7チームから本選に行く4チームが選ばれました。

3. ブラッシュアップ

予選を勝ち抜いた出場者は、2週間後の決勝に向けて、FFG社員とともにプレゼンテーションの内容をさらにブラッシュアップ。核となるアイデアを明確にし、資料の見せ方や相手に「伝える力」を磨きました。

9/15 4. ファイナリストによる 決勝のステージ!

本コンテストのステージとなった、福岡市の官民共働型スタートアップ支援施設「Fukuoka Growth Next」で決勝を開催。ディスカッションから1カ月で練り上げてきた4つの個性溢れるアイデアが披露されました。



1. 金融×妊婦

支店に妊婦専用窓口を設置して、妊娠中のさまざまな課題に応えるサポートを実施。子どもを含めて人生の初期段階から密接な関係を構築することで、銀行をよりポジティブな場所に。

2. 金融×自己管理

ブロックチェーンの活用で、各銀行の貸出金データ(貸出先、返済状況等)を見える化。その他銀行データの見える化にも顧客や企業と調整しながら着手し、それらを元に個人が銀行を選ぼう時代へ。

3. 金融×無尽

江戸時代に行われた「無尽」の仕組みを応用して、出資者と借りたい人を繋ぐプラットフォームを構築。スマホ1つで誰でも簡単に、投資したり融資を受けたりできる社会に。

4. 金融×自動販売機

自動販売機に、スマホとQRコードを活用した「現金引き出し機能」を追加。手数料で飲み物が買える仕組みで飲料メーカーと連携し、銀行はATM維持費を削減。気軽に現金が手に入る環境で、お財布なしの生活を。



プレゼンテーション終了後、FFGデジタル戦略部長をはじめ、社員がさまざまな切り口から各アイデアを分析・評価。



優勝者の濱田 智嗣さん(中央)とFFG社員

今回参加いただいた学生たちには、「新たなアイデアによって明るい未来を切り拓きたい」という、私たち企業や地域社会にとっても必要な目線を感じました。優勝した高校生の濱田 智嗣さんは、その中でも、既存のサービスや考え方にとらわれない先進的なアイデアが高く評価されました。受賞後には、「今まで頑張ってきたことで全力を出しきり、優勝できたことを光栄に思っています。この結果に慢心せず、これからも日々コツコツと努力をしていきたいと思っています」という感想をいただきました。

FFGでは、地域社会の未来をともに見つめるパートナーとして、若い世代のチャレンジをサポートしていく存在でありたいと考えています。

Promotion of Environmental Harmony

環境共生活動

九州の豊かな自然は、私たちの宝。
環境負荷の抑制・軽減に努め、
環境に配慮した商品・サービスを提供します。

2018年上期の主な成果

20.2%

継続的なエコ・アクションによる
2018年上期のエネルギー削減量(2010年同期比)



2011年夏から、FFG独自の節電プログラムを展開しています。また、太陽光発電や営業店のATMコーナーへのLED照明の採用など、エコオフィス化も推進しています。

FFGの環境への取り組み

Fun to Share への参加
日本の森を守る地方銀行有志の会への参加
二酸化炭素排出削減事業への参加

環境に配慮した商品・サービス
環境格付融資 FFG「エコ・ローン」
再生可能エネルギー関連商品
排出権取引

環境負荷の抑制・軽減に向けた活動

植林ボランティア
FFG独自の節電プログラム
エコオフィス化の推進
(屋上緑化、太陽光発電、LED照明など)
営業拠点一帯の清掃活動
営業車両へのエコカー導入
ライトダウンイベントの実施
クールビズ・ウォームビズ
エコ・キャップ運動
ゴミの分別徹底
エコってカエル
(エコアクションとメリハリのある勤務体制の実現)

FFGの環境方針 4つの柱

- ① **EMSの継続的実施**
地域の環境保全のために、目標を設定し、具体的な活動を通じて達成を目指します。
- ② **本業を通じた環境面への取り組み**
本業を通じて環境活動の側面からも地域貢献に努めます。
- ③ **環境配慮活動の実施**
省エネ・省資源活動への取組みおよび環境保全に配慮した社会貢献活動の実践により、環境への負荷軽減に努めます。
- ④ **全役職員への周知と徹底**
本方針を当グループ全役職員が認識し、一人ひとりが環境問題について考え、自主的に行動し、改善活動を実践していきます。

環境格付融資「FFGエコ・ローン」

環境に配慮した経営を行う企業の取り組みをFFG独自の「環境格付」で評価し、得点に応じて金利優遇を行う融資商品です。オリジナリティと地元密着を目指し、企業の環境保全の努力を評価項目に取り入れています。

環境美化・リサイクル

■エコキャップ運動

ペットボトルのふたを収集するエコキャップ運動に取り組んでいます。環境保全に加え、リサイクルで発生した利益を、発展途上国の子どもたちにポリオワクチン代として寄付する運動です。



エコキャップ運動

■福岡銀行 伊田支店

県の無形民俗文化財に登録されている、田川市の「川渡り神幸祭」に継続参加しています。今年は、地元の子どもたちが描いた絵をデザインしたゴミ箱を組み立てて会場に設置し、地域の方々にあたたい



ゴミ箱の設置



河川敷のゴミ拾い

声をかけていただきました。

■熊本銀行 嘉島支店

国土交通省等が主催する「緑川の巨」流域復興イベントに参加し、緑川流域の清掃活動を行いました。河川敷を中心にごみ拾いを行い、地域住民の方々との交流を深めました。本活動を通じて、地域貢献や環境保護の重要性を再認識しています。

■親和銀行 浜田町支店

佐世保市の市民大清掃の期間中、浜田町公園の清掃に参加しました。毎年恒例となっている本取り組みが、町内会の方々とこのコミュニケーションをより深めることや、地域密着型店舗としての行員の充実感にも繋がっています。

全ての人々のライフサイクルに応じた
さまざまなシーンで、金融知識の普及を通じた
生涯学習を支援しています。

生涯学習支援

2018年上期の主な成果

234名 

インターンシップ参加人数(2018年上期)

大学生・大学院生向けインターンシップを福岡・東京で開催しました。就業体験やコミュニケーションを通じて、銀行の仕事や働くことの意義を伝えるプログラムを展開しました。

pickup

■50人の本棚

FFG文芸財団は、各界で活躍する著名人50人の「人生を変えた3冊の本」を展示する「50人の本棚」を開催しました。会場のふくぎん本店広場には、DJブースの設置や、ベーカリーやカフェの出店も彩りを添え、心地よい空間で読書をお楽しみいただきました。



FFGの生涯学習支援

金融を通じた生涯学習支援

学生向け「金融・経済学習」
お客さま向け各種セミナー
地域の皆さま向け
「振り込め詐欺から身を守るセミナー」
大学での寄附講座

次世代を担う子どもたちへ

児童養護施設への活動
「銀行の職場探検」プログラムの展開
「ジョブシャドウ」実施
「FFGインターンシップ」実施

文化芸術・スポーツ活動

文化・芸術・スポーツイベントへのご招待
ニューイヤーコンサート
ビルの谷間のコンサート
地域貢献イベントの開催

金融教育支援

■金融知識の普及をサポート

金融知識の普及をサポートするため、お客さまを対象にさまざまな金融教育支援活動を展開しています。

2018年度上期は、親和銀行が日本銀行と連携し、吉岐商業高等学校の生徒12名を福岡ビルに受け入れて職場体験を実施しました。銀行業務についての講話に加えて、コワーキングスペースやi-Bankオフィスも見学し、新しい銀行のあり方についても学びました。

また、九州大学では、福岡銀行がサービスイノベーションに関する寄附講座を開催しました。

■ジョブシャドウ

3行で総勢104名の高校生を招き、職場体験プログラム「ジョブシャドウ」を実施しました。社員1名と高校生1名が常時同行し、働く意義や将来設計について考える機会を提供しました。

※「ジョブシャドウ」は、公益社団法人ジュニアアチーブメント日本(以下JJA)の登録商標であり、JJAが提供する体験型実技プログラムです。

文化芸術・スポーツ活動

■青少年テニス大会

福岡銀行は、12回目となる「ふくぎん青少年少女テニス大会」を実施しました。行員

の家族を含む県内および近郊在住の小
学4年～6年生約110名が参加し、元気
いっぱい歓声に包まれながら、男子・女
子ともにトーナメント方式で個人戦を繰
り広げました。



テニス大会



火の国まつり

■火の国まつり

熊本銀行の若手行員89名が、「火の国まつり」の総おどりに参加しました。27回
目の参加となる今年は、和傘と扇子を使っ
たオリジナルの踊りを披露し、地元・熊本
を代表するイベントを盛り上げました。

■「#しんわながさき」展

2017年下期に実施した「ins-tagramフォトコンテスト」で集まった約9,000点の画像の中から、受賞作50点を親和アートギャラリーに展示しました。長崎の美しい景色や伝統行事をはじめ、日常風景を切り取った皆さんの写真が、訪れる方々に長崎の魅力を伝えました。

地域社会、地球環境を含めた
「みんなにやさしい」の実現を目指した
アクションを展開しています。

ユニバーサルアクション

2018年上期の主な成果

4,099,000円

ふるさと振興基金(2018年上期)

福岡・熊本・長崎の3県において、地域の振興に繋がる活動を行っている個人・団体に対し、公益事業として活動資金の助成を行っています。2018年度上期は、3県で総額409.9万円を19先へ助成しました。

●ユニバーサルツール



多目的トイレの設置



介助資格の取得



ベンチプロジェクト



車椅子寄贈

●地域貢献活動

FFGのユニバーサルアクション

銀行にご来店のお客さまへ

「みんなに優しい」店舗づくり
店舗のバリアフリー化
お客様責任者・介助資格取得者の全店舗配置
普通救命講習受講者・認知症サポーターの配置
下記ユニバーサルツールの全店舗配置

(老眼鏡・AED・車椅子・視覚障がい者対応ATM
コミュニケーションボード(聴覚障がいがある方・外国人)
耳マーク案内板(筆談でのご案内)・助聴器・貸傘・ほじょ犬ステッカー)

地域貢献活動

災害復旧支援活動・店頭募金
地域行事への参加
「小さな親切」運動(熊本銀行)
ふくおかフィナンシャルグループ文化芸術財団活動
地域・産業振興助成金事業
(ふるさと振興基金・キューテック)
みんなの110番

社内の取り組み

障がいのあるお客さまなどへの利便性向上
(手話トレーニング、代筆・代読トレーニング、体験型研修)
ユニバーサルマナー検定3級の資格取得
TABLE FOR TWO

銀行にご来店のお客さまへ

「みんなにやさしい」銀行を目指して

障がいのある方や、高齢の方などに
特定せず、誰もがもっと利用しやすい「み
んなにやさしい」銀行を目指しています。

ハード面では、これまでに各種ユニバー
サルツールを全店舗に配置し、バリアフリー
対応に向けて体制を整えてまいりました。
聴こえの改善に役立つ「Communication
(卓上型対話支援システム)」を店舗で設
置するなど、快適な対面コミュニケーション
をサポートしています。より多くのお客さま
に心地よく過ごしていただける店舗づくり
を通じて、「あなたのいちばんに。」の実現に
取り組んでいます。

地域貢献活動

復興支援への取り組み

熊本地震の復興支援を目的に、熊本銀
行で取り扱っている保険商品の販売件数
に応じ、1件につき1,000円を寄付す
る取り組みを、2016年12月より行っ
ています。2018年度上期には、408万
円を熊本県に贈呈しました。

「小さな親切」運動

熊本銀行では、高齢の方や体の不自
由な方々の社会参加を目指して、医療機
関や介護施設、学校などに車椅子を寄贈
しています。2018年度上期は、車椅子

5台を贈り、2000年スタート以来の寄
贈台数は、216台となりました。

FFG企業育成財団

「ふくおかフィナンシャルグループ企業
育成財団(キューテック)」は、地域の技術
指南型中小企業を対象に、研究開発およ
び人材育成に対する助成を行っています。
これまで助成を行った数々の企業が、日
本の産業・文化の発展への貢献を評価され、
ものづくり日本大賞経済産業大臣賞など
を受賞しています。

また、2018年度上期には、元JRの
カリスマ車内販売員を講師に迎え、接客
において持つべき精神や職場での「コミュニ
ケーションの重要性」について考える講演
会を開催しました。

社内の取り組み

TABLE FOR TWO

2009年6月から、従業員の健康維持
と社会貢献へ同時に取り組む「TABLE
FOR TWO」に参加しています。社員食
堂でヘルシーメニューを注文すると、1食につ
き20円が発展途上国の学校給食費として
寄付されます。9月末(2018年上期)
までの寄付金は、2,489,090円
(全4拠点合計)となります。



住まいるな話
VOL.15

植物と暮らす

生きている“有機物”として、私たちの暮らしに瑞々しさや癒しを与えてくれる植物。住まいの外観の引き立て役として見栄えをよくしたり、日々の暮らしに取り入れて身近に楽しむポイントをご紹介します。

家の外観に彩りを

今や「緑」はブランドに

CMや雑誌で目にする素敵な住宅の多くがそうであるように、今や植物は、豊かな暮らしのイメージにとって不可欠な存在です。洗練された植物で住まいを彩り、建物とつまくマッチした外の住空間（外構）を作ることには、一つのステータスともいえます。

また、緑の保全是個人の好みだけに委ねられているのではなく、市街地の環境を良くするため、緑を増やし、維持管理をすることに土地の所有者などが合意して締結する「緑化協定」に基づいて管理されていることもあります。

木の特徴を知ろう

樹木は大きく「常緑」と「落葉」に分類され、それぞれに楽しみ方があります。

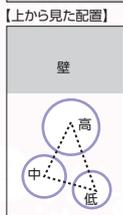
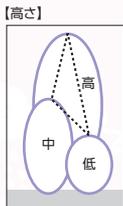
例えば、リビングから見ると、落葉樹があれば、葉が茂る夏は木陰をつくり、落葉する冬はあたたかな日差しを取り込むことができます。家の中においても季節の変化を感じることができます。

一方で、住まいの顔ともいえる玄関まわりに常緑樹があれば、一年を通じて豊かな緑で家族やお客さまを迎えることができます。

屋外は特に気温や日差しの影響を受けやすいため、それぞれの植物の特徴をよく理解し、適した場所について考えることが大切です。

配置のポイントは「不等辺三角形」!

地植え・鉢植えを問わず、植物を複数並べる時には、高さ・配置のバランスを意識して、より素敵に見せてみましょう!



- いちばん後ろの背高には、引き立て役となる緑を。常緑を選ぶと替える必要もなし。
- 季節の花は手前に配置し、ここだけを季節ごとに入れ替えるようにすれば、手入れもラク。

身近に楽しむ! フラワーアレンジ

家の中で気軽に楽しめる切り花。今回は、「グリーン」と「色味」、2つのアドバイスをご紹介します!

1 グリーンを取り入れてみよう!

ボリューム感が出て、花が少なくてもスカスカに見えません。アレンジの土台になるので、隙間を埋めるように挿していくとバランスも取りやすくなります。



葉の先を丸めて折り、ホチキスで留めるだけ!



春には桜の枝がお花屋さんにも並びます。

Column

「花は手入れが難しそう…」という方には、葉や枝の一本挿しがおすすです。花より長持ちする上、オリーブオイルやワインの空き瓶にさっと挿すだけで、お洒落なインテリアが完成!

花を長持ちさせるコツ!

こまめに水を替え、その都度、茎の切り口を数mm切って新しく。できれば、日光・エアコンが直接当たらず、気温の変化が少ない場所に置きましょう。

2 挿し色を取り入れてみよう!

花の色味は統一感を持たせてもいいのですが、明るい・淡い色味をベースに、あえて渋めの色を合わせるなど、自分だけの組み合わせを楽しんでみましょう。

ポルドー色の花&ピンク色に縁取られた暗めのグリーンに入れ替えると、ぐっと大人っぽい印象に!



取材協力: 古賀緑地建設株式会社
FLOWER SHOP GIVERNY



お気軽にご相談ください!

福岡銀行本店中2階「住まいるギャラリー」では、建築士やインテリアコーディネーターの資格を持つ専門のスタッフが、住宅に関するアドバイスを行っています。ご相談は無料です。

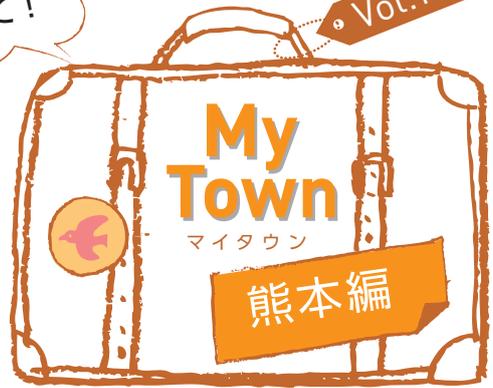
〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店 中2階 TEL 092-723-2290

営業時間/平日: 9:00~17:00 土曜: 10:00~17:00 (日曜・祝日および12月31日~1月3日は休業)



来て！
見て！

Vol.18



貸切風呂が充実 「三加和温泉郷」

九州でもトップクラスの高アルカリ性の温泉で、とろみのある肌ざわりが特徴。「メタケイ酸」という天然の保湿成分も多く含まれているため、湯上がりなどのしっとり感が翌朝まで続きます。

このコーナーでは、FFGの主要拠点である福岡・熊本・長崎の3県をご紹介します。

今回は、1月にスタートする話題のドラマの主人公の一人・金栗四三の出身地、熊本にフォーカスしました。



五輪のドラマとスポーツの熱気にふれる旅へ

2019年1月11日OPEN

日本マラソンの父 「金栗四三ミュージアム」

日本マラソンの父と称される「金栗四三」を等身大の視点で紹介するミュージアム。金栗が使用したユニフォーム、マラソン足袋といった品々や写真の展示をはじめ、ここでしか見ることができない映像や体験コンテンツをとおして金栗の足跡をたどり、その生涯や功績、スピリットなどを肌で感じることができます。

- 所在地／玉名郡和水町大田黒623-1 (三加和温泉ふるさと交流センター隣)
- ☎0968-34-4300 ※2019年1月11日以降
- 入館料／大人600円(前売480円) 小中学生300円(前売240円)
- お問い合わせ先(オープン前)／和水町商工観光課 ☎0968-86-5725



※写真はイメージです

幼少期が蘇る「金栗四三生家記念館」

築200年超の生家の内部を一部限定公開。金栗四三が生まれ育った頃の農家の暮らしを再現展示し、幼少期のエピソードなども紹介されています。

- 所在地／玉名郡和水町中林546番地
- 開館期間／2019年1月11日～12月23日
- 休館日／無休
- 開館時間／9時～17時
- お問い合わせ先／和水町教育委員会 社会教育課 ☎0968-34-3047



東京オリンピック・パラリンピックへの関心が日に日に高まる中、日本でマラソン・水泳の礎が築かれた時代を描くドラマがスタートします。主役は、日本人としてオリンピックに初めて参加した男「金栗四三」と、約半世紀前に日本へのオリンピック誘致に貢献した男、田畑政治の二人。金栗は、熊本県玉名郡和水町の出身です。

1912年の第5回オリンピック・ストックホルム大会に参加した金栗がマラソンランナーとしての基礎を築いたのは、小学校まで往復約12kmの通学路を走る「かけあし登校」。その後、東京高等師範学校(現筑波大学)に進学し、当時の校長であり、日本の近代スポーツ界を牽引した嘉納治五郎と出会います。オリンピックへの参加を決意させたのは、「日本スポーツ界の黎明の鐘となれ」という嘉納の言葉でした。

しかし、ストックホルムではレース中に熱中症になり、行方不明扱いという結果に。その後の2大会でも大敗を喫しますが、マラソンへの熱い想いは途切れることなく、日本マラソン界の発展に尽力し、箱根駅伝などを創設します。ドラマでも、数々の感動的なエピソードが展開されることでしょう。

そんな歴史の始まりの舞台となった熊本県では、熊本市が、今年開催される「ラグビーワールドカップ2019日本大会」の公認チームキャンプ地に。また、熊本市・山鹿市・八代市では、「2019女子ハンドボール世界選手権大会」も開催されます。スポーツで熱く盛り上がるまち・熊本を巡ってみてはいかがでしょうか。

大正ロマン漂う洋館 「山鹿灯籠民芸館」

和紙工芸の極致とも評される山鹿灯籠を展示。約100基の金灯籠が下がり、ケースには宮造りや座敷造りの伝統的な灯籠が並んでいます。建物は1925年当時の銀行で国の登録有形文化財。

- 所在地／山鹿市山鹿1606番地2 ☎0968-43-1152
- 開館時間／9時～18時
- 休館日／12月29日～1月1日
- 見学料／一般210円 小中学生100円

山鹿土産の定番 「灯籠もなか」

山鹿灯籠の形をした可愛らしいもなか。昔ながらの製法で炊き上げられた手練りの餡がたっぷり入っています。



とろりと肌を潤す泉質 「山鹿温泉」

平安時代に書かれた「和名抄」に温泉郷として登場。約900年前に、傷ついた鹿が湯で傷を癒しているのを見て発見されたといわれています。とても柔らかい泉質で湯量も豊富です。



600年を刻む名湯 「日奈久温泉」

江戸期には八代藩主の御前湯となり、2009年に開湯600年を迎えた伝統の湯処。歴史を感じさせる街並が往時の面影を伝えます。温泉はやわらかく、美人湯といわれています。



熊本銀行

(平成30年12月末現在)

熊本県	63店舗
福岡県	4店舗
九州の熊本・福岡県外	3店舗
合計	70店舗
ATM	256台

明治初期から大人気 「日奈久ちくわ」

豊富に水揚げされる魚を原料にし、竹に巻いて焼いたのが始まり。大きく肉厚で、土産品として親しまれています。



国指定名勝「松浜軒」

1688年に八代城主松井直之公が母崇芳院尼のために建てたお茶屋。四季折々の花々が咲き、特に6月上旬には肥後花ショウブが大輪の花を咲かせます。国指定名勝。

- 所在地／八代市北の丸町3-15 ☎0965-33-0171
- 開園時間／9時～17時(入園は16時30分まで)
- 閉園日／月曜日(祝日の場合は翌日)
- 観覧料／一般 500円 小中学生 250円



column

オリンピック開催を実現した男 「田畑政治」

ドラマの主役の一人、田畑政治は、東京帝国大学を卒業後、新聞記者として働く一方で、水泳の指導者として日本代表の監督や日本水泳連盟の会長も務めました。また、戦前からオリンピック誘致を訴え、1959年に東京オリンピックの開催が決まると、オリンピック組織委員会の事務総長に就任。国際政治絡みの騒動に巻き込まれて職を辞した後も、一委員としてほぼ手弁当で選手たちを激励し、誘致活動においても多大な功績を残しています。





ふくおかフィナンシャルグループ 経営戦略

第5次中期経営計画 ～「ザ・ベスト リージョナルバンク」を目指して～(3カ年計画:2016年4月～2019年3月)

目指す姿

第5次中期経営計画では、基本方針に『地域経済発展への貢献』と『FFG企業価値の向上』の好循環サイクルの実現を掲げ、基本戦略にはビジネスモデル、人材力、グループ総合力、ブランド力の4つの“進化”を設定しています。ブランドスローガン「あなたのいちばんに。」を全ての戦略・施策の機軸に据えて各種戦略・取り組みを展開することで、長期ビジョン「持続的に高い競争力・成長力を実現する『ザ・ベスト リージョナルバンク』」の実現を目指していきます。

重点取り組み

急速に変化する経営環境のもと、持続的な成長軌道を描いていく土台を築くため、これまでの業務を抜本的に見直す「構造改革」と世の中の動きに先手を打って対応していく「イノベーションの加速化」に取り組んでいます。

構造改革

第1フェーズで営業店・本部業務の見直し・削減を実施し、成長分野の人員増強や長時間労働の削減に取り組みました。さらに生産性を向上させ、営業力を強化するため、構造改革の第2フェーズに進んでいます。

生産性の飛躍的向上 (業務効率化)

- ▶ 営業店
 - 帳票・記入・印鑑レス
 - 事務の本部集中化
 - セルフ取引の拡大
- ▶ 本部・関連会社
 - 事務の自動化・AI化
 - ペーパーレス化の推進等による既存業務の効率化

営業力の強化 (サービス高度化・利便性向上)

- ▶ チャンネルの変革・連携
 - デジタル技術を活用した新しい形態の店舗展開
 - オムニチャネル化の促進等
- ▶ 人材の効率的配置
- ▶ 新たな商品・サービスの開発
- ▶ グループ総合力の発揮

イノベーションの加速化

スマホやAIを活用して、新たなサービスの創出を図るとともに、お取引先の既存事業の活性化や新事業の創出をサポートしています。

サービスイノベーション

- ▶ ファストパス：クラウド会計データを活用した融資商品の導入
- ▶ YOKA! Pay：即時口座引落しのスマホ決済サービスの導入

オープンイノベーション

- ▶ OPEN AI LAB：地元企業のAI活用を支援する場の開設
- ▶ DIAGONAL RUN TOKYO / FUKUOKA：価値共創スペースの開設

iBank事業

- ▶ Wallet+ (お金管理アプリ)
- ▶ 資産運用・ローン機能
- ▶ Debit+ (デビットカード)
- ▶ 他行展開 (オープンAPI連携)

利益還元

当社は、企業価値を高めることで株主価値の向上を図ることを基本に、株主の皆さまに対する利益還元につきましては、連結当期純利益の水準に応じて配当金をお支払いする方針としています。また、第5次中期経営計画では、配当性向30%程度とする配当テーブルを設定しています。

1株あたり配当金

	中間期	期末	年間
2017年度	7.5円	7.5円	15円
2018年度	8.5円	42.5円 (予定)	-

※2018年度の1株あたり期末配当金(予定)につきましては、2018年10月1日付の株式併合を反映した金額を記載し、1株あたり年間配当金は単純合算ができないため「-」と記載しております。

株式指標

	2017年度	2018年度 予
1株あたり当期純利益(EPS)	287.4円	302.7円
1株あたり純資産(BPS)	4535.1円	-
自己資本利益率(ROE)	6.6%	6.7%

※上記のEPS、BPSについては、2018年10月1日付けで実施した株式併合を勘案し、算出しています。

配当金目安テーブル

当期純利益(連結)※	配当金目安	配当性向
500億円以上～	年間85円～	～29%
450億円以上～500億円	年間75円～	26～29%
400億円以上～450億円	年間65円～	25～28%
350億円以上～400億円	年間60円～	26～30%
300億円以上～350億円	年間55円～	27～32%
250億円以上～300億円	年間50円～	29～34%
200億円以上～250億円	年間45円～	31～39%
150億円以上～200億円	年間40円～	34～46%
～150億円	年間35円	40%～

※親会社株主に帰属する当期純利益を指します。

※上表は効力発生後の配当金目安テーブルを記載しています。なお、2018年9月30日を基準とする中間配当につきましては、株式併合の効力発生前の配当金目安テーブルが基準となります。詳細は、2018年5月14日に公表しました「株式併合に伴う配当金目安テーブルの見直しについて」をご参照ください。



ふくおかフィナンシャルグループ 2018年度中間期の業績ハイライト

損益状況

3行単体合算

(単位:億円)

	2017年度 中間期	2018年度 中間期	前年比
業 務 粗 利 益	873	905	32
資 金 利 益	756	788	32
役 務 取 引 等 利 益	112	103	▲9
特 定 取 引 利 益	0	0	0
そ の 他 業 務 利 益	5	14	9
経費(除く臨時処理分)▲	512	505	▲7
業 務 純 益	361	400	39
コ ア 業 務 純 益	365	400	34
信 用 コ ス ト ▲	▲74	▲8	67

コア業務純益【2期連続増益】

役務取引等利益はマイナスとなりましたが、資金利益増加や経費削減等により、前年比+34億円増加の400億円となりました。

連結経常利益【2期ぶり減益】

信用コストの増加(戻り益の減少)等により、▲12億円減少の390億円となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益【2期ぶり減益】

以上の結果、親会社株主に帰属する中間純利益は前年比▲7億円減少の273億円となりました。

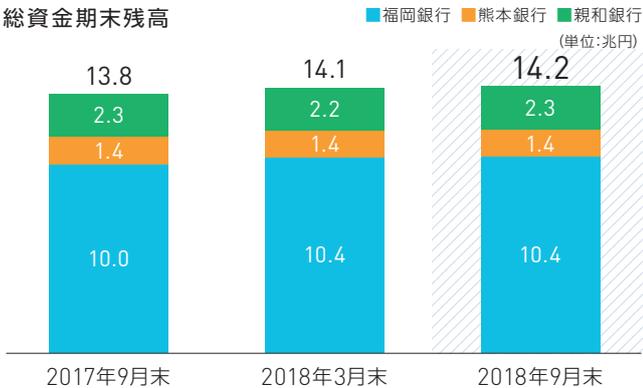
FFG連結

経 常 利 益	402	390	▲12
親会社株主に帰属する 中 間 純 利 益	280	273	▲7

総資金(預金+NCD)の状況(3行単体合算)

総資金(預金+NCD)は、個人預金を中心に堅調に推移した結果、2018年3月末比1,103億円増加し、14兆2,406億円となりました。

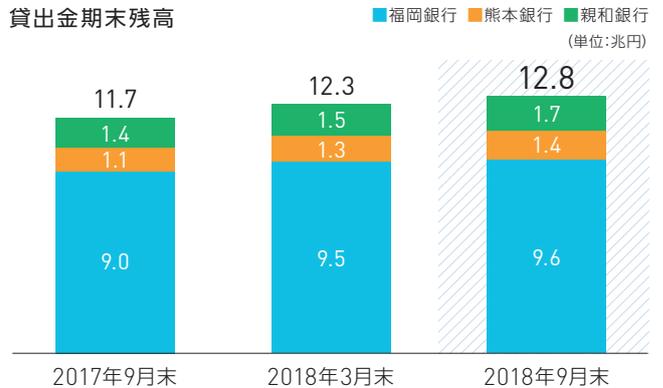
総資金期末残高



貸出金の状況(3行単体合算)

貸出金は、地元企業や個人のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えした結果、2018年3月末比4,423億円増加し、12兆8,196億円となりました。

貸出金期末残高

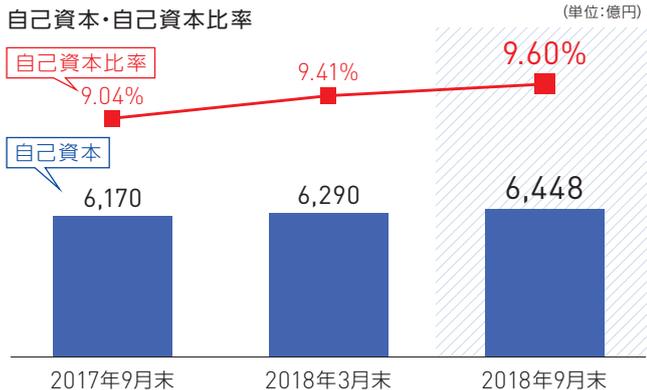


自己資本比率の状況(連結ベース)

自己資本は2018年3月末比158億円増加し、6,448億円となりました。自己資本比率[パーゼルⅢ(国内基準)]は、同0.19%上昇し、9.60%となりました。

自己資本・自己資本比率

(単位:億円)

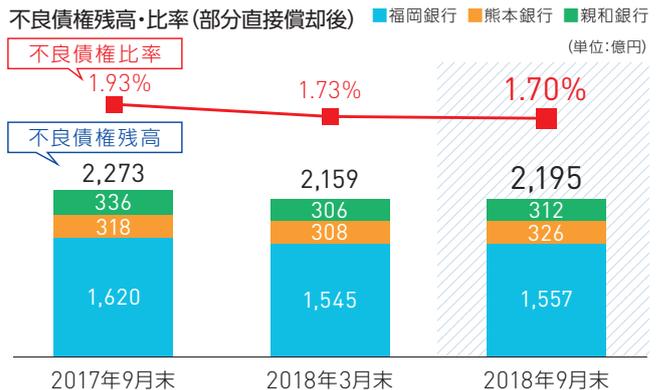


不良債権の状況(3行単体合算)

不良債権残高は、2018年3月末比36億円増加し、2,195億円となりました。不良債権比率は同0.03%低下し、1.70%となりました。

不良債権残高・比率(部分直接償却後)

(単位:億円)





福岡銀行 2018年度中間期の業績ハイライト

損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	2017年度 中間期	2018年度 中間期	前年比
業 務 粗 利 益	641	673	32
資 金 利 益	550	579	30
国内部門	513	541	28
国際部門	36	38	2
役 務 取 引 等 利 益	86	80	▲6
特 定 取 引 利 益	0	0	0
そ の 他 業 務 利 益	5	13	8
経費(除く臨時処理分)▲	341	335	▲6
業 務 純 益	300	338	38
コ ア 業 務 純 益	304	338	34
経 常 利 益	318	373	55
中 間 純 利 益	225	268	43
信 用 コ ス ト ▲	▲37	▲11	26

コア業務純益

役務取引等利益はマイナスとなりましたが、資金利益増加や経費削減等により、前年比+34億円増加の338億円となりました。

経常利益

信用コストが増加(戻り益が減少)した一方、コア業務純益や株式等関係損益の増加等により、前年比+55億円増加の373億円となりました。

中間純利益

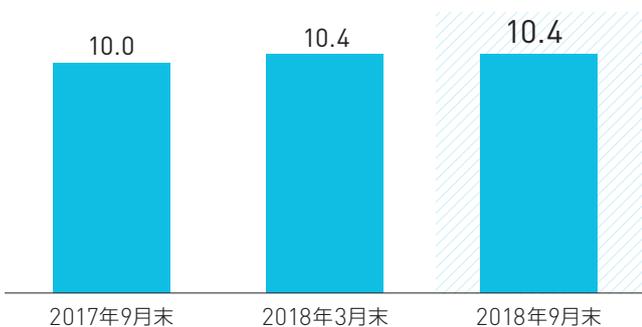
前年比+43億円増加の268億円となりました。

総資金(預金+NCD)の状況

総資金(預金+NCD)は、2018年3月末比370億円増加し、10兆4,456億円となりました。

総資金期末残高

(単位:兆円)

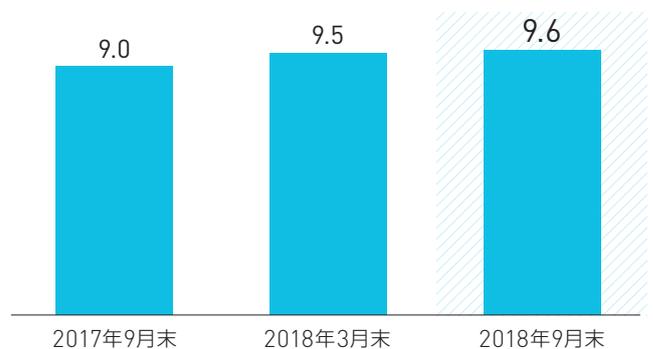


貸出金の状況

貸出金は、2018年3月末比887億円増加し、9兆6,007億円となりました。

貸出金期末残高

(単位:兆円)

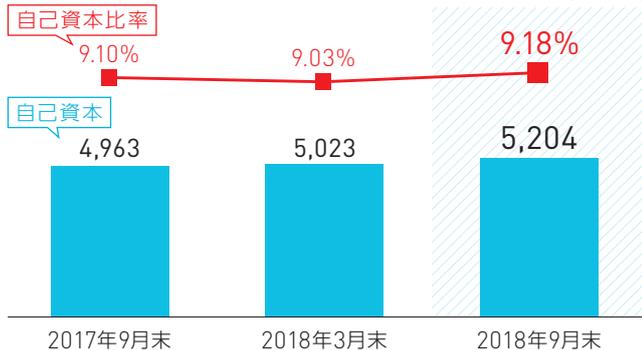


自己資本比率の状況(連結ベース)

自己資本は2018年3月末比181億円増加し、5,204億円となりました。自己資本比率[パーゼルⅢ(国内基準)]は、同0.15%上昇し、9.18%となりました。

自己資本・自己資本比率

(単位:億円)

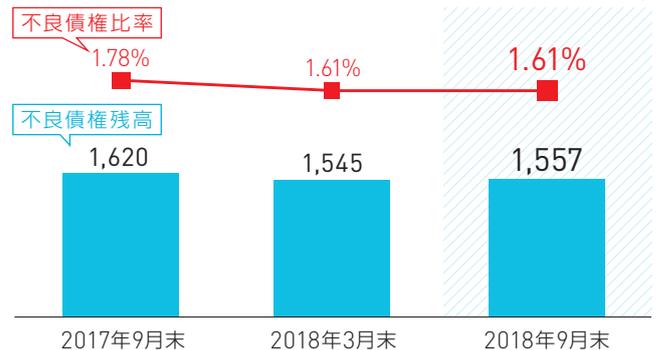


不良債権の状況

不良債権残高は、2018年3月末比12億円増加し、1,557億円となりました。不良債権比率は2018年3月末と同率の1.61%となりました。

不良債権残高・比率(部分直接償却後)

(単位:億円)





熊本銀行 2018年度中間期の業績ハイライト

損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	2017年度 中間期	2018年度 中間期	前年比
業 務 粗 利 益	96	96	0
資 金 利 益	87	89	2
国内部門	87	89	2
国際部門	0	0	0
役 務 取 引 等 利 益	8	7	▲2
そ の 他 業 務 利 益	0	0	0
経費(除く臨時処理分)▲	70	70	▲0
業 務 純 益	26	34	8
コ ア 業 務 純 益	26	26	1
経 常 利 益	34	15	▲20
中 間 純 利 益	26	12	▲15
信 用 コ ス ト ▲	▲12	9	21

コア業務純益

資金利益の増加等により、前年比+1億円増加の26億円となりました。

経常利益

信用コストの増加等により、前年比▲20億円減少の15億円となりました。

中間純利益

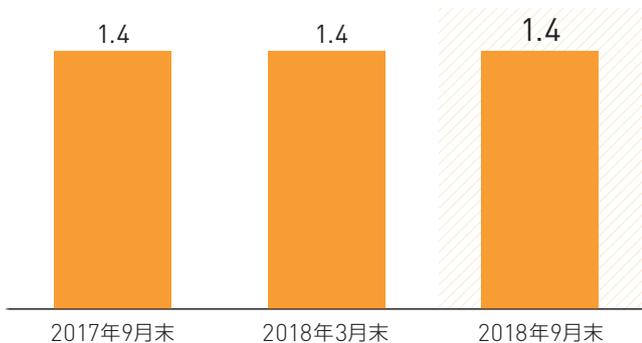
前年比▲15億円減少の12億円となりました。

総資金(預金+NCD)の状況

総資金(預金+NCD)は、2018年3月末比137億円増加し、1兆4,596億円となりました。

総資金期末残高

(単位:兆円)

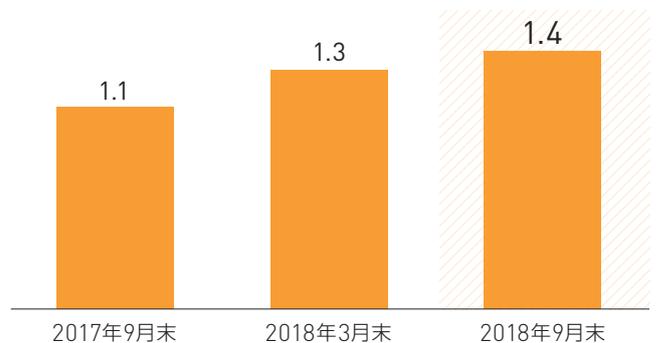


貸出金の状況

貸出金は、2018年3月末比1,519億円増加し、1兆4,665億円となりました。

貸出金期末残高

(単位:兆円)

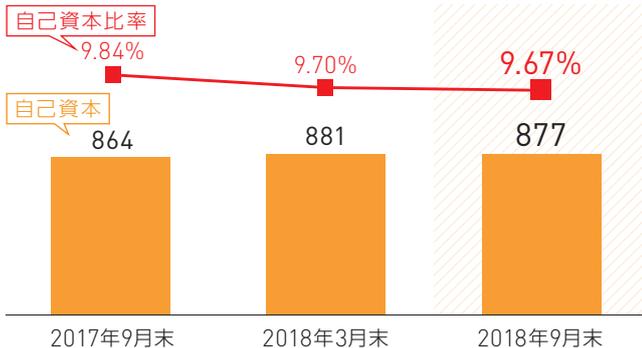


自己資本比率の状況

自己資本は2018年3月末比4億円減少し、877億円となりました。自己資本比率[バーゼルⅢ(国内基準)]は、同0.03%低下し、9.67%となりました。

自己資本・自己資本比率

(単位:億円)

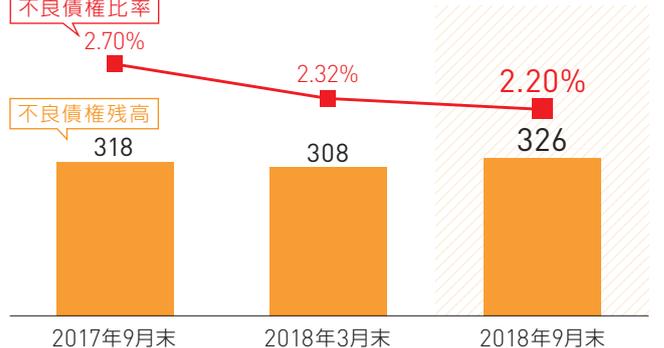


不良債権の状況

不良債権残高は、2018年3月末比18億円増加し、326億円となりました。不良債権比率は同0.12%低下し、2.20%となりました。

不良債権残高・比率(部分直接償却後)

(単位:億円)





親和銀行 2018年度中間期の業績ハイライト

損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	2017年度 中間期	2018年度 中間期	前年比
業 務 粗 利 益	137	136	▲0
資 金 利 益	119	119	0
国内部門	119	119	▲0
国際部門	0	1	0
役 務 取 引 等 利 益	18	16	▲2
そ の 他 業 務 利 益	0	1	1
経費(除く臨時処理分)▲	101	101	▲1
業 務 純 益	36	36	0
コ ア 業 務 純 益	36	36	▲0
経 常 利 益	65	43	▲23
中 間 純 利 益	50	34	▲17
信 用 コ ス ト ▲	▲26	▲6	20

コア業務純益

役務取引等利益の減少等により、前年比▲0億円減少の36億円となりました。

経常利益

信用コストの増加(戻り益の減少)等により前年比▲23億円減少の43億円となりました。

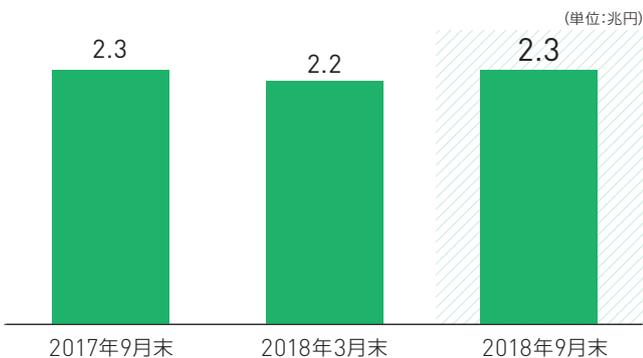
中間純利益

前年比▲17億円減少の34億円となりました。

総資金(預金+NCD)の状況

総資金(預金+NCD)は、2018年3月末比595億円増加し、2兆3,353億円となりました。

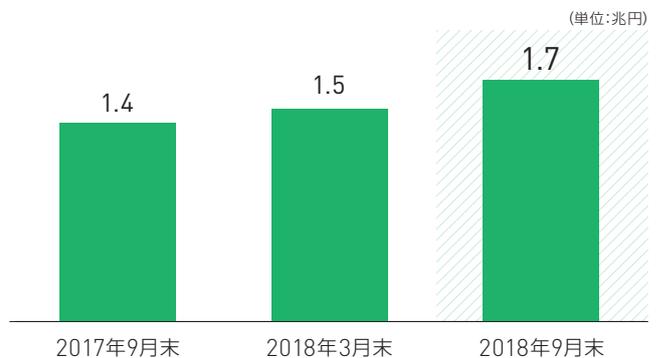
総資金期末残高



貸出金の状況

貸出金は、2018年3月末比2,016億円増加し、1兆7,523億円となりました。

貸出金期末残高

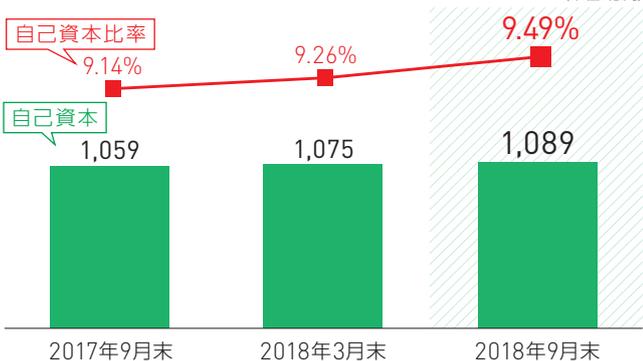


自己資本比率の状況

自己資本は2018年3月末比14億円増加し、1,089億円となりました。自己資本比率[バーゼルⅢ(国内基準)]は、同0.23%上昇し、9.49%となりました。

自己資本・自己資本比率

(単位:億円)

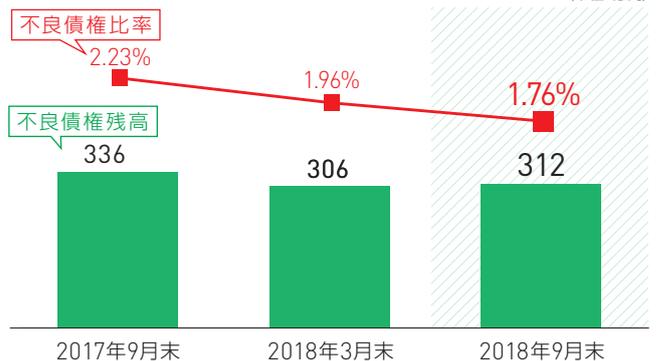


不良債権の状況

不良債権残高は、2018年3月末比6億円増加し、312億円となりました。不良債権比率は同0.20%低下し、1.76%となりました。

不良債権残高・比率(部分直接償却後)

(単位:億円)

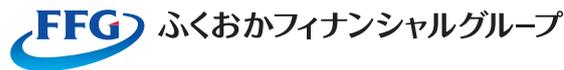


PROFILE

グループ銀行 プロフィール

2018年9月末日現在

ふくおかフィナンシャルグループは九州を基盤とした広域展開型地域金融グループです。



設立日 平成19年4月2日
 本社所在地 福岡市中央区大手門一丁目8番3号
 資本金 1,247億円
 従業員数 6,964人
 電話(代表) 092-723-2500
 U R L <https://www.fukuoka-fg.com/>

連結子会社

18社
 (うち福岡銀行連結13社)

格付情報

A+ R&I
 発行体格付
A JCR
 長期優先
 債務格付

福岡銀行

設立日 昭和20年3月31日
 本店所在地 福岡市中央区天神二丁目13番1号
 資本金 823億円
 従業員数 3,832人
 電話(代表) 092-723-2131
 U R L <https://www.fukuokabank.co.jp/>

明治10年、第十七国立銀行として創業。
 九州全域を営業エリアとする。

熊本銀行

設立日 昭和4年1月19日
 本店所在地 熊本市中央区水前寺六丁目29番20号
 資本金 338億円
 従業員数 929人
 電話(代表) 096-385-1111
 U R L <https://www.kumamotobank.co.jp/>

昭和4年創業。
 熊本県内を主要営業エリアとする。

親和銀行

設立日 昭和14年9月1日
 本店所在地 長崎県佐世保市島瀬町10番12号
 資本金 368億円
 従業員数 1,208人
 電話(代表) 0956-24-5111
 U R L <https://www.shinwabank.co.jp/>

明治12年、第九十九国立銀行として創業。
 長崎県内を主要営業エリアとする。

貸出金	資金量	格付
9.6 兆円	10.4 兆円	AA-*1 A+*2 A3*3

貸出金	資金量	格付
1.4 兆円	1.4 兆円	A+*1 A*2

貸出金	資金量	格付
1.7 兆円	2.3 兆円	A+*1 A*2

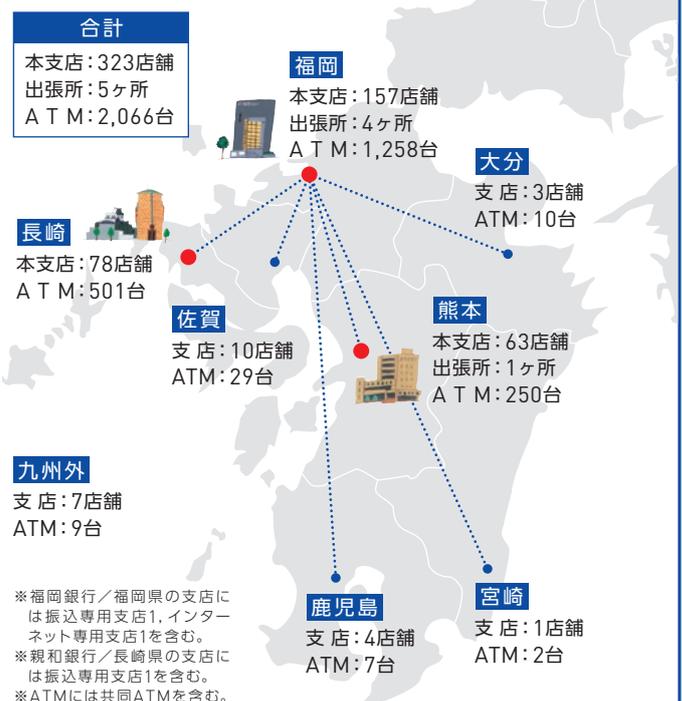
*1 R&I 発行体格付 *2 JCR 長期優先債務格付 *3 Moody's 長期預金格付(2018年6月6日時点)

NETWORK

FFGのネットワーク

2018年11月末日現在

海外ネットワーク





商号等	株式会社福岡銀行(登録金融機関) 福岡財務支局長(登金)第7号	株式会社熊本銀行(登録金融機関) 九州財務局長(登金)第6号	株式会社親和銀行(登録金融機関) 福岡財務支局長(登金)第3号	FFG証券株式会社(金融商品取引業者) 福岡財務支局長(金商)第5号
加入協会	日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会	日本証券業協会	日本証券業協会	日本証券業協会